年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　国語　　科目 文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校　文学国語　　）

教科　文学国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることが出来るようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力や共感力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の想いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	『書くこと』『読むこと』の各領域において、論理的に考える力や深く共感したりかに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	少なくとも最後まで走らなかった	○	○		・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・「古典のしるべ」を活用し、時間の経過による文字の変化について理解する。 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	○	○	○	3
	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	ナイン	○		○	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	7
	・「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。	山月記		○	○	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。	○	○	○	7
	・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	山月記	○	○	○	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表しようとしている。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○			2
2学期	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	晴れた空の下で			○	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表しようとしている。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。	○	○	○	12
	・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	こころ	○		○	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○			2
3学期	定期考査			○	○		○			1
	・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	こころ	○	○		・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。	○	○	○	11
	文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	こころ		○	○	・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするところを粘り強く説明しようとしている。	○	○	○	10 合計 70